



# 推進・シールド複合工法 アルティミックス工法



アルティミックス工法は、アルティミット工法による推進工法とシールド工法を組み合わせることで管路を築造する複合工法です。当初は推進工法で施工し推進力の限界位置や急曲線区間、軌道下等の構造物手前の任意位置からシールド工法に切り替えることができます。アルティミット工法の超長距離・急曲線推進システムを採用することで推進区間の延長を伸ばし、コストダウンを図ることができます。

## 1. 工法の特長

- ・複合工法により効率よく、また経済的に長距離管路を築造することができます。
- ・土質条件に合わせて泥水式および土圧式を選定します。
- ・施工条件に合わせて管材を選定します。

## 2. 適用条件

呼び径：1650～3000

適用土質：アルティミット工法に準ずる

適用曲線：推進区間 アルティミット工法に準ずる  
シールド区間 最小曲線半径R=12m

## 3. 適用管材

推進管	推進管 (特厚)	合成鋼管	ULTIMIX用 RCセグメント	鋼製セグメント

管材：日本ヒューム(株)

## 4. 施工事例

工事名：瀬戸第3号雨水幹線（戌ノ方谷工区）布設工事

発注者：明石市下水道建設課

工法：アルティミックス工法（泥濃式）

工事内容：推進・シールド総延長 L=405,863m

推進区間 L=376,775m（呼び径2000推進管）

シールド区間 L=29,088m（内径2000合成セグメント）

最小曲線：R=15m（シールド区間）



アルティミックス掘進機



推進・シールド切替部



シールド区間 (R=15m)